

# The Daily NNA ベトナム版

アジア経済情報紙 <https://www.nna.jp/>



NNA JAPAN CO., LTD.

〒105-7209 東京都港区東新橋1丁目7番1号 汐留メディアタワー9階  
Tel : 81-3-6218-4330 Fax : 81-3-6218-4337 E-mail : sales\_vn@nna.asia

KDN PP 11802/03/2012(029010) MCI(P) 030/03/2018

## 海外旅行が人気、所得向上で キーワードは「近場」と「短期」

ベトナムでは可処分所得の向上に伴い、海外旅行の需要が拡大している。ベトナム人旅行者は移動時間と滞在期間が短い旅行を好む傾向にあり、近場のタイやシンガポールのほか、日本や韓国も人気の旅行先となっている。格安航空会社(LCC)の就航やパッケージツアーの低価格化を背景に、若年層の旅行者が増えていくと見込まれている。



ベトナム人消費者の間で日本が旅行先として人気を集めつつある。写真はホーチミン市で開かれた日本関連イベントの訪日旅行ブース

ベトナム人の海外旅行者に関する正式なデータは公表されていないが、国営ベトナム通信(VNA)がベトナム観光協会(VTA)の統計として伝えたところによると、2016年のベトナム人海外旅行者は約650万人、総支出額は約70億~80億米ドル(約7,850億~9,000億円)に上ったという。

米クレジットカード大手のVISA(ビザ)が今年7月に発表した「世界旅行意識調査(GTI)」によると、ベトナム人回答者の過去2年間の海外旅行回数は平均3.5回。旅行先(複数回答)は、タイが45%と最も多く、韓国が26%、日本とシンガポールが26%、香港が18%だった。

ベトナム人海外旅行者は、移動時間と滞在期間が短い旅行を好むとされる。目的地までの平均移動時間は4.5時間、平均滞在期間は4泊で、アジア太平洋地域の平均6時間、7泊をそれぞれ下回った。平均滞在期間は、調査対象となった27カ国の中で最も短かった。他国・地域に比べて祝日や長期休暇が少ないことや、近場の方が

ベトナム人海外旅行者は、移動時間と滞在期間が短い旅行を好むとされる。目的地までの平均移動時間は4.5時間、平均滞在期間は4泊で、アジア太平洋地域の平均6時間、7泊をそれぞれ下回った。平均滞在期間は、調査対象となった27カ国の中で最も短かった。他国・地域に比べて祝日や長期休暇が少ないことや、近場の方が

### NEWS HEADLINES

【観光】 海外旅行が人気、所得向上で	1	【金融】 社会政策銀の低利住宅ローン、利用は低調	6
【金融】 エクシムが初の若者向けカード、JCBと	2	【金融】 TPバンク、今年2回目の増資へ	7
【車両】 ビンファストの設備輸入、独信用保険が保証	3	【経済】 ドンナイ省、FDI受入は30年で250億ドル	7
【車両】 自動車輸入、急回復中も値下がり見えず	3	【社会】 韓国の遺伝子研究企業、越枯葉剤協会と提携	7
【運輸】 配車アプリ車両、タクシー同様に管理か	3	【社会】 来週の予定：10月15~21日	7
【建設】 関東学院大、「土木工学科」新設を支援	3	【社会】 「徒然サイゴン」インドに住んでいるとき…	8
【製造】 家具輸出、25年に200億ドルに到達へ	4	<b>特集</b>	
【製造】 裾野産業向け展示商談会、HCM市で開催	4	【生産革新道場】 運搬のムダの正しい改善手法とは	9
【商業】 <<進出>>飲食支援ジーファクトリー、現法設立	5	【アジア三面記事】 21億円を手にするのは	10
【食品】 保健省、屋台の衛生状態に関する罰則を強化	5	<b>マーケット情報、その他</b>	
【食品】 食品加工のエバートラスト、中南部に工場	5	商品市況	11
【サービス】 韓国にコンカフェ2号店、限定メニューも	5	クロスレート	11
【農水】 豚肉が高値、農業省が適正化を要請	6	マーケット情報 為替と株式	12
【観光】 バクザン省、16件の観光案件で認可や覚書	6		
【金融】 アグリバンク、1~6月は37%増益	6		

## 【ベトナム—商業】 《日系進出》

**飲食支援ジーファクトリー、現法設立**

飲食店などの経営コンサルティング事業などを手掛けるG—FACTORY（ジーファクトリー、東京都新宿区）は11日、同社の孫会社にあたる連結子会社によるベトナム子会社の設立を発表した。ベトナムに進出する日系企業をサポートする。

孫会社の社名は「GFキャピタル（ベトナム）」。8日にホーチミン市に設立した。資本金は202億7,448万9,600ドン（87万米ドル、約9,750万円）、ジーファク

トリーが64.02%出資するシンガポールの連結子会社、GFキャピタルの100%子会社となる。

ジーファクトリーは2003年5月の設立。東南アジア諸国連合（ASEAN）での和食ブームなどを背景に増加する日系企業の進出を受け、15年にシンガポール、17年にタイ（現・孫会社）に、それぞれ子会社を設立している。

## 【ベトナム—食品】

**保健省、屋台の衛生状態に関する罰則を強化**

ベトナムの保健省は20日から、屋台で食品を販売する業者に関する規制を強化した政令115号（115/2018/ND-CP）を施行する。衛生基準を満たさない屋台に対する罰金を増やすなどの措置をとる。サイゴン・サイフォンが9日に伝えた。

政令では、適切に食品や飲料を設置していない屋台に

対して、50万ドン（21米ドル、約2,400円）～100万ドンの罰金が科される。これは、従来の政令での罰金30万～50万ドンよりも増額となる。また、廃棄物の扱い方に違反があった場合や、禁止されている保存料を使用した場合も罰則の対象になる。

## 【ベトナム—食品】

**食品加工のエバートラスト、中南部に工場**

食品加工の日系企業エバートラストフーズ（カインホア省）は10日、中南部ビンディン省に海産物の加工工場を着工した。投資額は約800万米ドル（約9億円）で、マグロの加工や保存を手掛ける。国営ベトナム通信（VNA）が伝えた。

工場の敷地は5ヘクタールで、クイニョン市のニョンホイ経済区に位置する。年間の処理能力は2,000トンで、観光客向けに日本料理やお土産も提供するという。第1期は2019年半ばに稼働する予定。

## 【ベトナム—サービス】

**韓国にコンカフェ2号店、限定メニューも**

ベトナムのカフェチェーン「コンカフェ」が、韓国ソウル市梨泰院地域に2号店をオープンすることが明らかになった。11日付ソウルファイナンスが伝えた。

韓国でコンカフェの事業権を持つグリーンエッグF&Bによると、オープンは25日。店舗は3階建てで、1、2階の室内およびテラス、3階の屋上に、それぞれ席を設けている。また2号店のオープンを機に、ベトナム本社と韓国とで共同開発した韓国限定新メニュー「ジンジャー・クリーム・コーヒー」「ジンジャー・ソイ・

ミルクティー」を提供するほか、1号店にはないベトナムのサンドイッチ「バインミー」も提供する。

2号店オープンの背景には、既存店の大きな人気がある。1号店は連日盛況で「行列をつくって飲むコーヒー」として知られるほどになった。グリーンエッグF&Bは今後、百貨店内に3号店をオープンする予定であるほか、「コンカフェストア」を運営してグッズの販売や流通も手がける予定だ。

## インドネシアにおけるモバイルペイメントの現状と展望 2018-2019

キャッシュレス社会を目指すインドネシアで急拡大中のモバイルペイメント市場、主要プレーヤーの運営実態をNNAグローバルリサーチが独自調査

